令和4年度 学力向上プラン

長崎市立戸町中学校

校訓　自　主・友　愛・飛　躍

学校教育目標　自ら考え判断し、友と協力しながら、夢の実現に向かう生徒の育成

重点目標（校訓に沿った「めざす生徒像」）

自　主
- ○心身ともにたくましい生徒
- ○進んであいさつができる生徒
- ○時と場に応じた言動ができる生徒
- ○課題解決に向けて努力する生徒
- ○自主的に自分の役割を果たす生徒
- ○見通しを持って計画的に動く生徒

友　愛
- ○自他の生命を大切にする生徒
- ○誰にでも心優しく接する生徒
- ○協働し、行事に参加する生徒
- ○志を持って、互いに高め合う生徒
- ○友を思いやり、助け合う生徒
- ○他の考えや意見を尊重する生徒

飛　躍
- ○夢や希望を持ち、努力し続ける生徒
- ○適切に自己評価し、改善できる生徒
- ○失敗を恐れず、挑戦し続ける生徒
- ○困難に立ち向かい、鍛錬する生徒
- ○向上心を持ち、粘り強い生徒
- ○地域や母校を愛する生徒

基礎・基本の定着
- ○基本的生活習慣の確立と授業規律の徹底
  - ・学習訓「TOMACHI」の徹底
  - ・「学習の手引き」の活用
- ○自学タイム・スキルタイムの取組

思考力・判断力・表現力の育成
- ○読解力育成を意識した取組
- ○総合的な学習の時間の充実
- ○聞く力、話す力の育成

学習意欲の向上
- ○個に応じた指導
- ○ＩＣＴ機器の活用
- ○わかる授業の工夫、改善
- ○ペア、グループ活動の工夫
- ○家庭学習の習慣化

指導体制の充実
- ○個別指導の充実（ＴＴ指導）
- ○特別支援教育の充実
- ○全職員による指導体制、学習環境の工夫
- ○チームによる授業づくりと検証の推進

教師の指導力向上
- ○生徒理解のための研修
- ○ＧＩＧＡスクール構想担当による研修・環境整備の推進
- ○授業研究会の実施
- ○研究会の情報共有

学習時間の確保
- ○家庭学習の習慣化と強化
- ○テスト前の学習計画作成
- ○テストの訂正、再テストの徹底
- ○個に応じた学習補充と課題の提供

総合的な学習の時間

校訓にそった授業改善
- ○　「めあて」と「まとめ」を明確にし、主体的な「学び合い」を通してわかる授業の展開
- ○　自ら考え、自ら学ぶ生徒の育成

各教科
1. 「めあて」と「まとめ」が子供に届く授業
   - ・「まとめ」→「めあて」の順で授業を構想　・子供の言葉を生かす
2. ねらいに即した「書く活動」を重視する授業
   - ・理由や根拠を明らかにして書かせる。　・文章で考えさせる
3. 「学習規律の徹底」と「一人一人が存在感を実感」により安心して学べる授業

道徳

特別活動

数値目標：各種類学力調査において、全教科で全国（県）の平均を３ポイント上回る

国語科
- ○豊かな語彙に触れる機会を増やす
- ○段階的な思考を経た表現活動の設定
- ○様々な条件を付加した書く活動

社会科
- ○プリント・AIソフトを利用した反復学習
- ○復習プリントからの60％の定期考査への出題
- ○ＩＣＴ機器を活用した教材の視覚化

数学科
- ○AIソフトの有効活用
- ○基本的な問題における根拠を明確にする発問の工夫
- ○基本計算の反復練習を行う

理科
- ○実物との関連（実験や観察の重視、日常生活との関連付け）
- ○生活体験からくる誤概念の払拭
- ○自分の考えを記述させる（表現力の育成）

英語科
- ○4領域を統合した言語活動
- ○既習事項の反復学習
- ○音読の徹底
- ○目的・場面・状況をふまえて、考えや気持ちを伝えあう言語活動の充実

戸町学習訓【ＴＯＭＡＣＨＩ】

- Ｔ　提出期限を守る
- Ｏ　落ち着いた態度で
- Ｍ　目と耳と心で聴く
- Ａ　あいさつは大きな声
- ＣＨ　着席は２分前
- Ｉ　いきいきと発表